

医療安全管理論

選 択

開講年次：4年次前期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：国の医療安全対策の背景と取り組み内容を学習し、組織としての医療安全に取り組む意義と体制を理解する。医療安全に関する用語を学び、ヒューマンエラーの種類と不安全行動の防止対策、さらに具体的なエラーの防止対策を理解する。医療事故に伴う看護職の法的責任について理解する。

- 到達目標**：①医療安全に関する用語を理解する。
 ②ヒューマンエラーの種類と不安全行動の防止対策を理解する。
 ③国の医療安全対策の背景と取り組み内容を理解する。
 ④病院組織における具体的なエラーの防止対策を理解する。
 ⑤組織としての医療安全に取り組む意義と体制を理解する。
 ⑥医療事故に伴う看護職の法的責任について理解する。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

○猪股 千代子・古都 昌子・檜山 明子・矢野 祐美子

■**授業計画・内容**：

1回目	医療安全に関する用語の定義 ①リスクマネジメント②医療事故、アクシデント③医療過誤④インシデント、ヒヤリ・ハット ヒューマンエラーと対策 ①ヒューマンエラーとは ②エラーの防止対策	(猪股)
2回目	国の医療安全対策 組織としての医療安全対策 安全文化の醸成	(矢野)
3回目	病院組織における医療安全対策とその取り組み ①病院組織における具体的なエラーの防止対策 ②医療安全推進室の役割	(古都)
4回目	転倒・転落とアセスメントの実際 ①アセスメント ②発生状況 ③事例	(檜山)
5回目	危険予知トレーニング ケア実施に伴い発生しやすい事件事例から	(檜山)
6回目	医療事故に伴う看護職の法的責任 看護職賠償責任保険制度	(古都)
7回目	医療事故の実態と事故発生後の対応と院内日常業務の管理体制 ①医療事故の実態 ②医事紛争解決への考え方 ③医療事故発生後の対応事例 ④診療録等の記載	(古都)
8回目	まとめ「自己のエラー特性を知り防止対策を考察する」	(矢野)

■**教科書**：随時資料を提示する。

■**参考文献**：新体系 看護学全書 看護の統合と実践①看護実践マネジメント 医療安全／佐藤エキ子編集 メヂカルフレンド社

■**成績評価基準と方法**：レポート評価 70% 授業態度30%

評価方法	到達目標						評価基準	評価割合 (%)
	到達目標 ①	到達目標 ②	到達目標 ③	到達目標 ④	到達目標 ⑤	到達目標 ⑥		
課題提出	◎	◎	◎	◎	◎	◎		70%
授業態度	○	○	○	○	○	○	積極的な姿勢・質問など	30%
出席							2/3以上の欠席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：看護管理学 感染管理論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：医療安全の確保は、医療の質に関わる重要な課題である。安全な医療の提供は医療の基本であり、医療安全の必要性・重要性を自分自身の課題として認識し、在学中だけではなく、卒業後も学びを深め続ける事を期待する。